

多摩消防団だより

第18号
発行
平成29年2月吉日
多摩消防団広報部
印刷
井上印刷所

平成二十九年多摩区消防出初式受賞者(敬称略)

川崎市長表彰

永年勤続消防団員

生田分団 副分団長 漆原 英樹
 稲田分団 副分団長 大貫 欽也
 生田分団 部長 米山 恵司
 生田分団 班長 小峰 聖純
 生田分団 団員 横山 信彦

優秀消防分団

生田分団

多摩消防団長表彰

勤務成績優秀消防団員

生田分団 部長 米山 恵司
 稲田分団 部長 保田 昌彦
 勤務成績優良消防団員

生田分団 団員 山田 真也、松澤 大地、
 松澤 宏昭、齊藤 洋
 稲田分団 団員 廣田 雅則、安藤 剛志、
 浅谷 友之、鈴木 賢司、
 齊藤 光彦、細田 知良

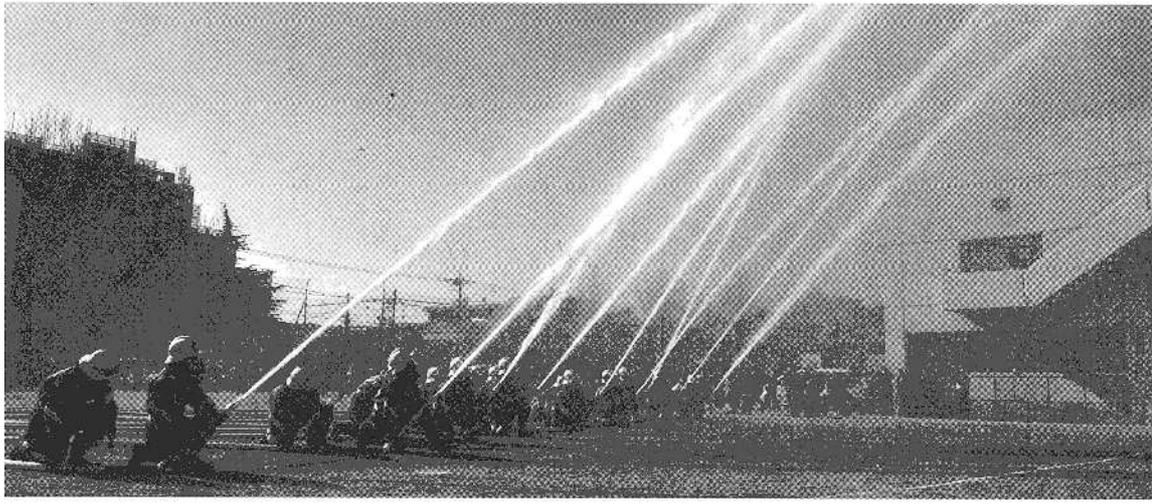
退職消防団員

元稲田分団 班長 溝江 光宣
 元稲田分団 班長 伊藤 正則
 元稲田分団 班長 石井 伸昌
 元稲田分団 団員 野村 亮
 元稲田分団 団員 中根 大典
 元稲田分団 団員 金子 純也
 元稲田分団 団員 佐藤 博之

多摩防火協会会長表彰

消防功勞部隊

生田分団 大作班
 稲田分団 登戸班



謹賀新年

多摩消防団 団長 松澤 喜義

平成二十九も始まり輝かしい新年を共に、喜びたいと思います。昨年、国内外での異常気象そして多大な地震等もありました。新潟の糸魚川の大火災についても私たちの地域で起きたらと教訓にして、無駄にしない様にして参りたいと思っております。多摩区二十二万人の生命と財産を守るべく多摩消防団は多摩消防署と共に協力し頑張っております。本年も多摩区の皆様にとつて良き年で有ります様ご祈念申し上げます。

明けましておめでとございます

多摩消防署 署長 日迫 善行



平成二十九年の新春を迎えるにあたり、団員の皆様にご挨拶と新年のお慶びを申し上げます。

昨年、国内では熊本地震等の発生や四つの台風が上陸するなど、予測困難な自然災害や糸魚川大規模災害等により多くのかけがえのない人命と貴重な財産が失われました。

本年も多摩区におきましては、消防団と消防署が一致団結して「安心・安全」なまちづくりに努めて参る所存でございます。

結びになりますが、多摩消防団のますますの発展と皆様の御健勝・御多幸、そして平成二十九年が皆様と御家族の皆様にとりまして、よい年となりますようお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

多摩消防団 消防大会

六月十九日に明治大学生田キャンパス内におきまして、第十七回多摩消防団消防大会が行われました。今年の大会は、例年より一カ月近く早い開催となり、各九班から選ばれた選手が、小型ポンプ操作を行いました。



多摩優勝 中野島班

指揮者 吉澤 孝太郎

中野島班は、川崎市大会への出場が決まっております。今回の操法大会で優勝して川崎市大会出場への弾みという意気込みで訓練に取り組んできました。

多摩大会初出場のメンバーが中心のチーム編成でしたが、強い気持ちで最後まで集中して良い操法が出来たと思います。応援して頂いた方々に感謝いたします。

優勝	稲田分団	中野島班
準優勝	生田分団	東生田班
第三位	稲田分団	登戸班



優秀選手賞

指揮者 吉澤 孝太郎 (中野島班)

「指揮者」という責任のあるポジションを任せられ、緊張とプレッシャーのかかる訓練期間でした。夢中で訓練に取り組み、励まし合いながら、個人賞を頂く事が出来ました。携わって頂いた全ての方々に感謝しています。

一番員 古谷 和之 (中野島班)

多摩区の大会で中野島班として操法大会に出場し、優勝する事が出来ました。また一番員では、個人賞という輝かしい成績を収める事も出来ました。これまで指導して下さった諸先輩方そして中野島班の皆様、何より理解のある地域の方々に応援を頂きありがとうございました。

二番員 山田 真也 (東生田班)

優秀選手ありがとうございます。この様な賞を頂いたのも東生田班の皆様と真摯に訓練に取り組み、その成果を大会で発揮する事が出来た結果だと思えます。東生田班の皆様感謝しこれからも消防団活動に努めていきたいと思えます。

三番員 鈴木 泰一 (長尾班)

操法大会に出場するのは、今年で三回目です。今までは、本番になると緊張が体が思う様に動かずミスばかりでしたが今年こそは、良い結果を残したいと思いい積極的に夜間訓練に参加をして、多くの先輩方に指導をして頂きました。

本番では、ミスも少なく良い結果を残せたと思います。これも夜遅くまで指導して下さった先輩方のおかげだと思います。

来年以降もさらに良い結果を出せる様に努力したいと思います。



川崎市大会 (稲田分団代表)

第三位 中野島班 班長 浅谷 武

班長として、指揮者として、川崎市大会に出場させて頂きました。

大会の出場順番で最初に出場するのは採点基準によると不利だという事を言われていますが、日迫署長により「失敗してもいいから全力で他の消防団の度肝を抜く操法をする！」この言葉を胸に訓練に励みました。

当日の大会では、優勝にあと一步の処でしたが、素晴らしい操法が出来たと思っております。

長期の訓練で頑張ってくれた班員、また応援を頂いた各班の方々、全ての皆様に感謝の気持ちで胸が一杯ですありがとうございます。



川崎市大会 (生田分団代表)

長沢班 指揮者 山下 洋平

私が川崎市大会に出場するのは、今回で二回目ですが、初めて指揮者としての出場となりました。長沢班は、十一番目の出場の良い緊張感の中での操法が出来ました。結果は、十六チーム中十位でしたが、選手は今までの訓練中でも出した事のない良いタイムを出す事が出来、納得のいく操法が出来たと思います。

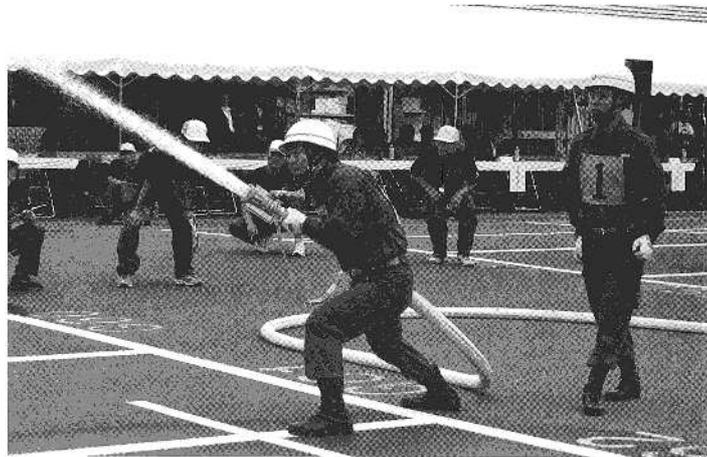
また、多摩大会が終わってからの一週間、生田分団の皆様には、多くの指導そして応援をして頂き、ありがとうございます。

この度の経験を無駄にせず次の後輩に伝えていけるように心がけていきたいと思えます。

稲田分団大会

六月十二日、多摩区菅の多摩川河川敷において、稲田分団操法大会が開催されました。

小隊訓練を披露した後、各班がホースの回収をする為の「納め」も含めた小型ポンプ操法を行いました。



調布市花火大会特別警備

八月二十一日、多摩消防署と協力し、菅班と中野島班の車両を花火大会の警備のため待機させて、多摩川河川敷の警備を行いました。

多摩区民祭

十月十五日、生田緑地にて、多摩区民祭が開催されました。

生田分団は、各班に分かれ交代で火気を取り扱う模擬店の巡回警備を行います。



当日は、天候に恵まれ多くの来場者が集まり、たくさんの子供達に消防車両の乗車体験をしてもらえました。

藍綬褒章受章

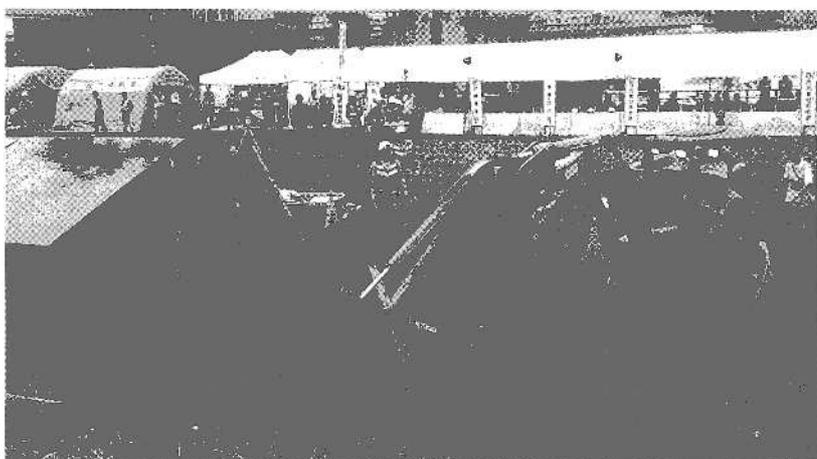
十一月十五日、皇居内におきまして、井田哲芳副団長が褒章を受賞されました。

「この度、平成二十八年秋の褒章において、榮譽ある『藍綬褒章』を拝受いたしました。この栄は、今日まで私を支えてくださった関係各位のご支援と日々訓練にご尽力いただいている団員とご家族の皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝しております。」



と、井田副団長から御礼のお話がありました。

川崎市総合防災訓練



八月二十八日、多摩川河川敷二ヶ領せせらぎ館周辺で実施された川崎市総合防災訓練では、多摩消防団機動部隊と多摩消防署との連携による家屋からの救出救助訓練や一斉放水による消火活動など、首都圏直下型地震による災害や近年の異常気象に伴い多発する豪雨災害を見据えた、より実践的な訓練を行いました。

多摩消防団は、災害が発生した際、多摩消防署と一体となり迅速に救助活動を行い地域住民を守るようにこれからの訓練に励んで参ります。

防火パレード

十一月十日、「秋の全国火災予防運動」も始まり多摩防火協会主催の防火パレードが行われました。多摩消防団も参加して、火災予防を呼びかけながら多摩区役所から出発し向ヶ丘遊園駅周辺のパレードを行いました。

「みんなが消防士」事業

多摩区内の小学四年生を対象にした「みんなが消防士」事業が行われました。

消火器具の使い方を実戦形式で学んでもらい、消防士の方々には、三連梯子の取り扱い等を披露して頂きました。

平成二十九年

出初式統一防火標語

防災は

地域で守る

自助共助

年末火災特別警備の実施

十二月三十一日に、年末火災特別警備が行われました。

多摩消防団では、各九班が担当地域の巡回警備を行い器具置場にも団員を待機させて不測の事態に備えました。

編集後記

第十八号発行「多摩消防団だより」に際し、御協力を頂きました皆様には厚く御礼を申し上げます。

多摩消防団広報部一同

